

青少年健全育成「ほっとけん！アワード」

1. 目的・内容

青少年にまつわる様々な問題の解決を図る工夫や取組を行った地域行事に対して、行事の益々の発展を支援し、他の地域に対して好事例として紹介するために青少年問題協議会が選考・表彰を行う。（賞金：アワード1行事 5万円、奨励賞4行事 3万円）

2. 対象

青少年健全育成事業補助金対象団体（104団体）

- ①小学校区こども会育成連絡協議会（30団体）
- ②小学校区青少年健全育成運動協議会（32団体） ※9月25日時点・2団体応募
- ③小学校区青少年会育成会（14団体）
- ④中学校区青少年健全育成運動協議会（14団体） ※9月25日時点・3団体応募
- ⑤中学校区青少年指導員会（14団体） ※9月25日時点・1団体応募

※茨木市こども会育成連絡協議会及び茨木市青少年指導員連絡協議会は青少年健全育成事業補助金対象団体であるが、それぞれ上記①⑤の団体の連絡調整を役割としているため表彰の対象からは省く。

3. 選考方法

- ①各青少年健全育成事業補助団体の連絡協議会より1団体（合計5団体）を推薦
- ②①の団体から、いばらきの青少年「ほっとけん！アワード」を青少年問題協議会で決定

4. 表彰までの流れ

- ①各団体連絡協議会等で1団体を推薦
（10月から11月にかけて会議（書面会議の場合あり））
- ②青少年問題協議会第2回専門部会において審査・各賞の候補を選考（11月26日）
- ③青少年問題協議会で最終選考・決定（2月）
- ④アワード発表（3月）

5. 周知

社会教育振興課 HP、青少年問題協議会、各団体協議会・役員会（7月～8月）、青少年健全育成事業補助金説明資料の郵送時に同封（4月実施済み）

ほっとけん！アワード決定までの流れ

対象：2019年4月1日～2020年3月31日の期間で実施済の青少年健全育成事業補助行事

周知	7月～8月	青少年健全育成関係団体会議や通知等でアワードを周知	青少年健全育成事業補助金対象団体 (85団体・174行事)
募集	7月～10月	各団体より、エントリーシート等にて応募	写真等、エントリー行事の様子がわかる資料を添付
推薦	10月～11月	各協議会内でアワードへの推薦行事の選考	書面会議の場合あり
審査①	11月下旬	青少年問題協議会専門部会で審査・決定	書面審査
審査②	2月	青少年問題協議会にて審査結果の報告	ほっとけん！アワードの正式決定
発表	3月	アワード発表	市ホームページや青問協発行冊子への掲載等

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、スケジュールが変更になる場合があります。

ほっとけん！アワード実施要領

1 目的

市内の青少年健全育成団体が実施する行事は、地域の大人と青少年が声をかけあう関係づくりのための貴重な機会である。しかし、青少年の興味の多様化等による参加者の減少や担い手不足から生じる恒常化など、行事の見直しや工夫が必要となっている。そこで、青少年自身が主役となり、自己有用感を高める等の効果を生み出した行事を好事例として評価し表彰することで、他団体の効果的な活動を知る機会とし、各団体の活動意欲を高めることで時代に応じた青少年の健全育成に資することを目的とする。

2 対象

以下の協議会内の団体が前年度に青少年健全育成事業補助金を活用して実施した行事

- (1) 小学校区こども会育成連絡協議会
- (2) 小学校区青少年健全育成運動協議会
- (3) 小学校区青少年会育成会
- (4) 中学校区青少年健全育成運動協議会
- (5) 中学校区青少年指導員会

3 受賞行事の選考及び決定方法

対象の各協議会から推薦された行事から、青少年問題協議会にて大賞「ほっとけん！アワード」1行事、奨励賞4行事を決定する。

なお、(3)小学校区青少年会育成会は協議会が組織されていないことから、(4)中学校区青少年健全育成運動協議会にて協議の上、行事を推薦する。

4 審査基準

以下の項目等に基づき、3～4段階で評価し、各協議会及び青少年問題協議会にて審査・決定する。

- (1) 重点目標に沿って行事計画・実施を行ったか。
- (2) 重点目標の沿った取り組みを実施することで期待される(実感した)効果
- (3) 青少年の役割
- (4) 青少年との相談
- (5) 青少年への指導と助言
- (6) 青少年の希望を取り入れたか
- (7) 独自性

5 賞の授与

大賞「ほっとけん！アワード」受賞団体へ5万円、奨励賞受賞団体へ3万円を、賞状と共に授与する。

6 その他

この要領に定めるものの他、必要な事項は別に定める。

附則 この要領は令和2年7月20日から施行する。

ほっとけん！アワード エントリーシート 令和〇年〇月〇日

団体名：※正式名称を記入してください。賞状、HP等に記載します。 〇〇中学校区青少年健全育成運動協議会
行事の概要 行事名： 〇〇中校区フェスティバル 参加人数 415人
日時：令和〇年11月17日（日） 10：00 ～ 16：00 継続期間（第5回）
目的： 〇〇中学校区青少年育成運動協議会が青少年健全育成運動重点目標「大人が気づいて声を掛け合う関係づくり」の実現をめざし、〇〇中学校区の中学生・高校生・大学生と協力してクラブ活動やサークルで学んだ技術や知識を活かした地域・学校・家庭の交流イベントを実施する。

	従来の行事	重点目標の「大人が気づいて声を掛け合う関係づくり」を意識した取り組み
青少年との相談	企画は担当役員の大人のみで行っていた	<input type="checkbox"/> 企画から中学校のクラブ単位で参加してもらい意見交流を行った。
青少年の希望を取り入れたか	青少年の希望は聞いていなかった。	<input type="checkbox"/> 参加者全員で校歌斉唱のコーナーを希望。 <input type="checkbox"/> クラブ単位でのコーナー参加の提案があった。
青少年の役割	ステージでの発表（軽音楽・ダンス）	<input type="checkbox"/> 美術部による案内看板・ポスターの作成 <input type="checkbox"/> ステージの部の司会進行 <input type="checkbox"/> 校歌斉唱のピアノ伴奏 <input type="checkbox"/> BGMの選曲
青少年への指導と助言	青少年は参加者なので、特に指導助言はしていなかった。	<input type="checkbox"/> 司会進行のアドバイス <input type="checkbox"/> 受付方法や誘導の打ち合わせ

アピールポイント（※他の団体の参考になるような「工夫」「課題解決」「行事効果」「継続性」などをアピールしてください。）

- 担い手不足が問題となっていたが、新たに市内大学・企業に呼びかけて無料で●●体験コーナーを開催していただいた。
- 地域と児童・生徒のつながりを深めるために、運営組織に小中学校の先生方にも加わっていただき、児童生徒の関わりを深めることが出来た。
- 今回の行事をきっかけに、学生サークルが地域で●●教室を継続して実施してくれるようになった。

ほっとけん！アワード 採点表

団体名 _____

行事名：

項目	審査内容	評価/配点		
		評価内容	点数	採点
重点目標に沿って行事实施をしたか		十分沿っている 普通 工夫が必要	10点 5点 0点	
重点目標に沿った取り組みを実施したことで得た効果	・ 大人が地域の青少年とのつながりを深めている	良い やや良い	10点 8点	
	・ 行事をきっかけとした継続的な効果が認められる			
	・ 行事前の課題が解決に向かっている			
青少年との相談	・ 計画時や当日に青少年と相談をして進めている	普通	5点	
青少年の希望を取り入れたか	・ 青少年の希望が取り入れられている			
青少年の役割	・ 企画、準備、司会、当日作業等をしている			
青少年への指導と助言	・ 青少年の役割（参加者も含む）に対して、アドバイスや打ち合わせを行っている	やや良くない	2点	
独自性		独自性が高い 普通 工夫が必要	10点 5点 0点	
総合判断		十分な実績 普通 工夫が必要	10点 5点 0点	
合計（100点）				

青少年健全育成運動重点目標：子どものSOSほっとくん!? 大人が気づいて声をかけあう関係づくり